

管掌役員のコミットメント／サステナビリティ推進体制

管掌役員のコミットメント

当社は、2023年度の事業計画「SMAS Evolution 2023 ∞」において、新たに当社のありたい姿として「サステナブルな社会に向けたモビリティプラットフォーム」を掲げました。事業を通じてサステナブルな社会を目指すことを明確にするとともに、サステナビリティ経営を実行してまいります。

サステナビリティ経営の中でも、特に気候変動への対応は最重要課題として認識しており、温室効果ガス(GHG)排出量の削減に向け、算定を実施しました。

当社におけるCO₂削減に向けた対応として、事業活動におけるCO₂排出量のScope1においては、社用車台数の適正化およびEV切替を加速させ、2024年までに50%のEV化、2030年度までに全車両完全EV化を目指します。また、再生可能エネルギーを利用した電力の調達にも積極的に取り組んでまいります。

お客さまに対しては、クルマと車両管理の提案のみならず、EV導入を積極的にご提案してまいります。EV特有の課題である、車両導入コスト、充電設備、再生可能エネルギーの利用など従来にはない課題に対し、独自の技術を持つさまざまなパートナー企業とともに「EVワンストップサービス」をご用意し、お客さまのEV導入に向けた課題解決に貢献いたします。

さらに、車両のメンテナンスにおいては、グリーンパーツの利用促進、EVリース満了車両の燃料電池再利用などにより、サーキュラーエコノミへの取り組みも積極的に実施し、ステークホルダーの皆さまとともにCO₂削減へ取り組み、2050年カーボンニュートラルを目指してまいります。



執行役員 本社部門担当役員(経営企画部、広報部、サステナビリティ推進部)兼 経営企画部長

阪本 正人

サステナビリティ推進体制

サステナビリティに関連する 이슈は、当社の経営における重要課題の一つであると認識をしています。

サステナビリティ経営を推進していくためサステナビリティ推進部担当役員を委員長とした「サステナビリティ推進委員会」を組成しています。サステナビリティ推進委員会は年4回を基本的なスケジュールとして開催し、当社のサステナビリティへの取り組みを検討し、経営会議へ報告する体制を有しています。気候変動などのサステナビリティ経営全般における重要事項は経営会議で審議され、取締役会に報告されます。

また、2022年度には、サステナビリティ経営の強化を図るため、経営企画部傘下にあったサステナビリティ推進室をサステナビリティ推進部に昇格させています。

